

医療関係者の皆様へ —院長からのメッセージ—

2020年4月22日

非常事態宣言対応下で、心労を含む大変なご苦勞を持って診療を継続されていることと拝察申し上げます。

本当にお疲れ様でございます。

当院は、他施設で対応困難な子ども達を受け入れている、静岡県小児医療の最後の砦です。この姿勢は、コロナウイルスに対する非常事態宣言下でも変わることはありません。

当院でのコロナウイルス感染例治療の経験はまだありませんが、他施設で治療困難な場合はコロナウイルス感染例であっても受け入れる方針です。

ただ、コロナウイルス関係の医療量増大に伴う医療崩壊を回避する視点から、ご紹介いただいた患者さまの検査、治療を“専門家による不要不急の判断”を加えたうえで延期、または他施設への紹介(転院を含む)をさせていただく場合がありますことを申し添えさせていただきます。

平坦な道ではないかもしれませんが、病気と闘っている全ての子ども達のために、覚悟を持ってこころをひとつにし、全職員一丸となってこの国難を乗り切る覚悟でおります。

ご協力とご支援、何卒宜しくお願い申し上げます。

静岡県立こども病院 院長 坂本喜三郎